

会報 大学生協友の会

2023年6月1日
第38号
大学生協友の会発行

〒166-8352 東京都杉並区和田3-30-22 全国大学生協連役員室 TEL: 03-5307-1111
E-mail: univcoop@univcoop.or.jp ホームページ: <https://unico.itigo.jp/>



7月友の会定例総会開催案内

大学生協友の会幹事長 伊野瀬十三

会員におかれましては、恙なくお過ごしのこと存じます。コロナ感染症は今のところ落ちついていますが、隣国、中国では再び流行の兆しが見えてきており、公共交通機関等でのマスク着用が義務化されたようです。日本においてもこの先また流行することは必死とされていますが、政府のコロナ対策は依然として不安を残しています。先頃広島サミットが開催されました。ゼレンスキード統領の来日やグローバルサウスといわれる国々の参加もあり、巷間では大成功とされ岸田内閣の支持率が大幅に上昇しました。しかし、広島サミットは本当に成功したのでしょうか。サミットの成果文章では、このサミットが被爆地広島での開催にも拘わらず核兵器の抑止力の重要性を認めしており、「核なき世界」実現への決意は全く感じられません。ロシアのウクライナ軍事侵攻についても停戦やウクライナの戦後復興についてはほとんど議論されず、G7各国の武器供与競争の様相を呈しこの戦争を煽つたす状況になつてきました。幹事会としましては退職者への

ている感すらします。

こうした中で、岸田内閣は、国内においては「安全保障3文書」改悪し、防衛費（軍事費）の大幅増を進めています。今通常国会では、防衛費増額のための財源確保法案や防衛産業の資金援助を可能とする法案の通過をめざしています。さらに憲法改悪の動きも活発化しています。最近、高齢世代が現役世代との分断政策によって、保守化し

右傾化しているとの報道もありますが、戦後民主主義の中での育ち、それを守ってきた、老人パワー、を今こそ發揮しなければならないと思います。

さて、来る7月8日（土）友の会定例総会が開催されます。今会定例総会が開催されます。今総会は会員の入会をいかに促進していくのかが大きなテーマです。ここ数年定年退職者は毎年二ヶタを超えて、さらにコロナの影響による中途退職者も増えています。しかし、友の会に入会するかは少人数に止留まっており、今後の友の会活動に支障をきたす状況になつてきました。

幹事会としましては退職者への

友の会の周知徹底、懇親会への招待、会報の改善、そして何よりも友の会自身の魅力向上に向けて検討してまいりたいと思っています。友の会はこうした活動を通じ、大学生協の再生のために奮闘している役職員の皆様を引き続き応援してゆきます。

会員の方々の総会へのご参加をお待ちしています。

第31回総会開催の詳細案内

日時 .. 2023年7月8日
(土) 午前十一時～午後十五時
場所 .. 大学生協杉並会館
第一部 .. 総会 午前十一時～午後十二時
第二部 .. 特別報告 午後十二時
() 午後十三時

議題 .. 定例議題、役員選任
内容 .. ポストコロナへ
() 大学生協の現況と課題

報告 .. 大学生協連広報調査部長
大築匡（前東京事業連合常務理事）
第三部 .. 懇親会 午後十三時
() 午後十五時

【お願い】欠席の方含め近況報告のご記入（別紙同様のはがき、またはこの貞冒頭のイーメイル）にご協力ください。6月24日（土）迄にお寄せください。

生活支援員の活動紹介 住み慣れた地域で自立し た日常生活を送る為に

小塚和行



（1）福祉サービス利用の手
続きのお手伝い（援助）
（2）日常的金銭管理
（3）書類等預かりサービス

昨年12月の「友の会親睦会」での近況報告で、市民後見人の活動を始めたことを書きました。会報編集からこの生活支援員の仕事

各自治体では、判断能力の不十分な高齢者や知的障害・精神障害のある方などが、安心して生活が送れるように、定期的に訪問して、福祉サー

ビスの利用手続きや暮らしに必要なお金の出し入れのお手伝いを行っています。埼玉県ではこの事業を「あんしんサポート」と呼び、以下のようないいな支援を行っています。

一 基本サービス

（1）福祉サービス利用の手

（2）日常的金銭管理

（3）書類等預かりサービス

この事業は、社会福祉協議会（社協）が主体となって実施しており、利用者は地域の社会福祉協議会と契約して利用します。契約後はそれぞれの生活状況や身体の状態、本人の希望をもとに支援計画を立てます。契約後はそれらの利用を申し込みました。支援内容は、月1回自宅に訪問して、1か月の間に届いた郵便物を見せていただき、その内容の説明や対応・処理についてのアドバイスをすることです（日常生活上の手続援助）。

ふじみ野市の社協が主催している「市民後見人養成講座」を2か年間受講して、地域の高齢者や障害者の状況、それを支援するための法律を始めとする制度や政策、市民後見人や生活支援員の役割と仕事を学びました。

実際の活動と体験

私が現在担当している方は65歳の男性で、自宅で父親と一緒に暮らしています。統合失調症の関係もあり福祉サービスの利用を申し込みました。支援内容は、月1回自宅に訪問して、1か月の間に届いた郵便物を見せていただき、その内容の説明や対応・処理についてのアドバイスをすることです（日常生活上の手続援助）。

郵便物も、その方の生活、趣味や関心ごとなどに関わっているものもあり、より正確によりご本人の気持ちややりたいことに沿った対応をしています。その後は、まだ始まつたばかりでご本人との関係づくりはこれからだと思っています。その意味でいくには、ご本人との対話を通じて理解を深めていくことがあります。その意味では、まだ始まつたばかりでご本人との関係づくりはこれからだと思っています。

生活支援員の活動は、市民後見人の業務を受託するための体験研修の一つとしても、位置付けられています。先般、ふじみ野市高齢福祉課の面接・打診を受けたので、今年は新たに市民後見人の活動を始めることになるかもしれません。

シリーズ「会員からの活動報告」

るので、今元気なうちに地域でできる範囲で困っている方のお手伝いをしておこう、と思ったのが支援員に応募した動機です。

ふじみ野市の社協が主催している「市民後見人養成講座」を2か年間受講して、地域の高齢者や障害者の状況、それを支援するための法律を始めとする制度や政策、市民後見人や生活支援員の役割と仕事を学びました。

1回の訪問は1時間を予定していますが、上記のような対応をしていると1時間もあつという間に経つてしまします。

人には尋ねてもすぐ思い出せなかつたり、関係する書類が整理されていないためすぐに探し出せなかつたりして、銀行の通帳などを見て確認したり、郵便物の送付先に電話をして状況確認をしたりすることもあります。

難波田城公園・資料館でのボランティア活動

小林
茂雄



私がこの富士見市に転居したのは、定年を4年後に控えた2011年でした。定年後の生活を考える中で「多少田舎に行くか」くらいの気持ちで移り住んできました。

転居してあまり日をおかずには、妻は知り合いもいないなかで、市役所に通い現役時代の特技を活かして「子育て支援」のボランティア活動を始めました。積極的に地域の活動に参加する妻の姿を見て、地域でなにも繋がりがない自分に「これから長い老後にこのままではまずい！」との意識がつづきました。

以前から定年後は家族以外の人と接する場を意識して作ることが必要だと聞いていました。

そのような思いを持つていた2017年、市の広報誌で資料館の「市民学芸員養成講座」の案内を見つけました。資料館は何回か訪れていて気に入っていましたので、早速申し込み、8月から翌年3月までの期間で12回の講座を受講することとなりました。めでたく2018年4月に「富士見市立資料館市民学芸員」の委嘱状を頂くことができ、ボ

- ランティア活動がはじまりました。

① 資料館にお越しになつた方への園内ガイド（土曜・日曜・祝日）

② 資料館の行事（公園祭り、古民家宿泊体験、小学校社会科見学等）への参加・お手伝い

③ 市民学芸員の自主的な活動（市民学芸員対象の講座、館外研修等）の企画検討・実施

④ 月1回の定例会の参加・運営
再雇用での勤務があるうちは土曜日曜を中心とした活動でした。現在は平日含めて資料館に通つて活動に参加しています。

活動の中心は、資料館にお越しになつた方への園内ガイドです。初対面の人にお話しするのですから少々勇気がいります。

ある時近隣の市からお越しになつたご婦人に園内ガイドを行つたあと、「富士見市はいいわね。このような貴重な公園を大切に維持されていて。私の住んでいる街にも欲しいわ！」とのお褒めの言葉を頂けた時は嬉しかつたです。また、市民学芸員も全体でそれなりの人数が登録されて



初等教育の現場から観る 風景

風景

木村
博幸



皆さん、ご無沙汰しております。在職中は何かとお世話になりましたり、お付き合いいただきましたことを、紙面を借りて御礼申しあげます。

私は2022年3月をもって全国大学生協連をリタイアし、現在は都内の公立小学校で「副校长補佐」の業務に就き、これまではできるだけ近づきたくないと思っていた職員室で、8面6臂の副校長を補佐しながら、個性豊かな教職員と楽しく仕事をさせていただいております。幼い6年生から、少し生意気になりつつある6年生まで、孫のよ

前頭葉を凍傷する。実は面白い世界です。児童や教職員とのコミュニケーションは格別であります。校庭に目をやれば、子どもたちの歓声がこだまします。

副校长職は学校教育法の改正（2007年）に伴い、校務全般をマネジメントするためには都内の公立小・中学校で教頭職に代わって設置されました。副校长の守備範囲が広く、負担が大きいことから、これを補佐・分担する体制が整備されるようになります。

小学校の教員は心身共にタフです。学期ごとに実施される授業観察・評価・個人面談等の体系

うな存在が一気に600人も増えました。年格好から、就任当初は児童に「新しい校長先生ですか?」と誤認されたこともありましたが私にとって小学校という職場は前頭葉を刺激する、実に面白い世界です。児童や教職員とのコミュニケーションは格別であり校庭に目をやれば、子どもたちの歓声がこだまします。

人生にムダなんて
ひとつもない

今日の豊かな主義

ノック入会規則

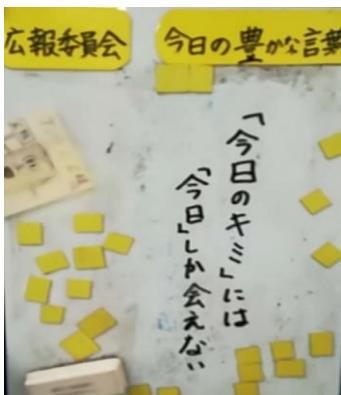
化と、校長一 副校長一 主幹教諭一 指導教諭一 主任教諭一 教諭といつた学校経営の管理体制のもとで、不登校や精神的に不安定な児童へのケア、児童の親との複雑な関係と葛藤しながらも、実際の教育現場は和気藹々とした空気が醸成され、子どもたちの成長を支える強い意志と活力に満ち溢れています。

「給特法（国立及び公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法）」により、時間外手当や休日出勤手当が支給されないにもかかわらず多くの教員は1日平均10～12時間にも及ぶ長時間労働とギリギリの人員体制のもとで教育現場を支えています。

2022年6月、大阪府立高校教諭（時間外月平均102時間超／適応障害で3か月間の休職）による、大阪府を相手どつた裁判（＝適切な労務管理を求める）が結審を迎えました。大阪府側は「給特法上、教員の時間外勤務のほとんどは自主的・自発的なものであり、勤務時間の把握や管理職の安全配慮義務には限界がある」と主張しましたが、大阪地裁はこれを退けて、現場が「からだ大事にしてや」という声掛けだけで抜本的な業務負担軽減策を講じなかつたとして、

安全配慮義務違反があると認定された。制度改定を含む本質的な問題解決の道のりは険しいものの、この司法判断は今後に繋げていこう上で意味のある判例となりました。

本校では、近郊にある東京芸大学と事業連携プログラム等を通じた交流があり、初等教育におけるSDGsの関連授業やICT教育の調査・研究で来校する学生たちは眼を輝かせています。この他、弁護士等の専門家による「人権学習」(大学教員が講師の場合)はゼミ等の学生も同席)や、その道の匠から生活に密着したテーマで学ぶ「出前教室」地元農家に訪問する「体験授業」等、想像力を掻き立てる学びの実験装置が仕掛けられています。校庭は、子どもたちの外遊びや生涯スポーツの振興をはかるNPO法人の協力で、ほぼ全面が芝生化されています。維持管理費や、養生期間中は校庭が使えなくなることから芝生化が敬遠されがちですが、本校は養生をしなくとも良好な状態を維持できている希有な成功例となっています。



本校の興味深い特徴のひとつに、自ら進んで「はたらく子」を育てるという教育方針の実践があります。5・6年生で構成する「広報委員会」活動は定期的にメソセージや格言を校内に貼り出して（写真）参照児童たちの心を揺さぶり、学校公開や展覧会に訪れた父兄に自分たちの作品を紹介する「子どもガイド」がマンツーマンで付き添います。彼ら6年生も間もなく、在校生にバトンを託して卒業していきます。

こうした子どもたちの成長の足跡を間近に垣間見ることがでできるのが私の元気と健康の源であり、新たに発見した、やりがいのある職場に日々感謝しています。そして、子どもの貧困と格差拡大のもとでこの国はどこへ向かおうとしているのか、傲慢な、まやかしの政治と訣別しなければ、との思いが強まります。

に、自ら進んで「はたらく子」を育てるという教育方針の実践があります。5・6年生で構成する「広報委員会」活動は定期的にメソセージや格言を校内に貼り出して（写真）参考児童たちの心を揺さぶり、学校公開や展覧会に訪れた父兄に自分たちの作品を紹介する「子どもガイド」がマンツーマンで付き添います。彼ら6年生も間もなく、在校生にバトンを託して卒業していきます。

貢献 オホーツクキャンパスでの



皆様、ご無沙汰しております。今日は、北海道網走市の山中にある学生数約1400名のオホーツクキャンパスに農大生協が食堂と購買の運営を開始したことを紹介させていただきます。東京農大生協のある東京農業大学は世田谷・厚木・オホーツクの3キャンパスに6学部があり、13000人の学生が学んでいます。116年を迎える東京農大生協ですが、2017年より世田谷キャンパスの購買書籍部の前のプレイガイドとアミ（食堂）を明け渡し、セブンイレブンと焼き立てパンのお店を別業者が運

営を始めたり、大学子会社に自動販売機や学生マンションを移管したり、年々赤字額が大きくなっています。そんな中、2011年3月19日（卒業式前日）に、大学事務局から話があるからと呼び出され、「オホーツクキャンパスの業者が撤退の申し出があり、その後の食堂・売店を生協で行つてほしい」と言われました。コロナ禍で2020年度単年度の経常剰余が過去最大の約4000万円赤字もあり、とても難しい話でした。

農大生協理事会では反対される教職員理事もいましたし、公認会計士にも反対されました。大学には、生協としても検討はするが他の業者にも打診してベストな選択をしていただくようお願いしました。大学も複数の業者にも打診されたようですが、すべて断られていきました。オホーツクキャンパス分のみ赤字かつ生協全体も赤字の場合、オホーツクキャンパスで赤字になり、補填していくよう学長先生から法人理事長にお願いもしましたが、補填なしで運営してほ

東京農大生協 大野専務

しいと言われました。ただ、学長先生は赤字にならないよう様々な協力をすると熱く多様なアイデアを語っていただきました。

私も現地に何度も訪問し、教職員や学生から様々なお話を

聞く中で、「規模や立地から食堂と売店は一緒に運営しないと成り立たない」「大学や学生教職員と一緒に運営しないと成り立たない」と感じており、それを一番

できるのは大学生協がベターナ

のではと思うようになつていま

した。また、それ以前より入学者の約40%は共済に加入し、約

5%は生協pCを購入されてい

て、組合員が存在していました。

2021年度に入り、pC有料サポート・講座を立ち上げ、生





PC・学食・バス・共済加入等も過去最高を更新しました。公務員講座も立ち上げ、夏ころには単年度黒字が見込めるようになります。また、9月からオホーツクの学生2名を新学期アドバイザーとして採用し、現地の様子もリアルにわかるようになります。オホーツクでも赤字を出さずに運営する計画をつくり、12月の理事会で決定しました。

事業年度変遷 2019年～2022年度 単位万円

	2019	2020	2021	2022
出資金額	26,892	24,970	24,020	22,797
供給高	123,135	69,826	87,647	98,321
経常剩余金	△1,760	△3,997	1,907	387

2022年度の経常剩余は、オホーツクキャンパス購買・食堂合計で123万円・生協全体で387万円の黒字を残すことができました。今後はさらにサビスを充実させ、より満足度をあげ奮闘していきます。陰ながら応援していただければ幸いであります。今後ともよろしくお願いいだします。

オホーツクキャンパスでは市や漁協とも連携



3キャンパスの関連する食材
3キャンパスの生協食堂で



【第3回幹事会開催報告】

- ⑦ 次回第1回幹事会
- ⑥ 開催日 2023年12月2日（土）14時開会（大学生協杉並会館）
- ⑤ 会日程確認
- ④ 第38号会報（2023年6月発行予定）について
- ③ 計監査選任について
- ② 別企画について
- ① 2023年度間活動計画
- ② 2023年度友の会幹事・会場
- ③ 2023年度友の会総会特
- ④ 第38号会報（2023年6月発行予定）について
- ⑤ 2023年度総会日程
- ⑥ 7月8日（土）11時開会
- ⑦ 2023年12月会員親睦会
- ⑧ 上げられる

日時 / 2023年4月8日（土）
場所 / 大学生協連 杉並会館
出席 / 伊野瀬、岡安、釜田、倉橋、説田、平田、和久井、茂垣、柴田、中村、大久保（幹事）古越、和知（会計監査）欠席 / 馬場、宮寺、薄葉、山崎、藤村、塩谷（幹事）
協議事項 /